

# リハビリテーション論

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 坂上 哲可 (リハビリテーション科学部 tsakaue@hoku-iryo-u.ac.jp)  
浅野 葉子 (リハビリテーション科学部) 児玉 壮志 (リハビリテーション科学部)

## 【概要】

本講義では、以下 ~ の知識修得が目的となる。具体的には、リハビリテーションの理念役割、医学的リハビリテーションにおける身体機能障害や精神機能障害を呈する代表的な疾患に関する知識や具体的なリハビリテーション、加齢に伴う心身障害のメカニズムやリハビリテーション、代償機能や環境整備、地域リハビリテーションの概要や介護予防の観点についてである。

## 【学修目標】

1. リハビリテーションの理念や障害の見方を説明することができる。
2. 中枢神経系障害のリハビリテーションについて説明することができる。
3. 呼吸・循環器系障害のリハビリテーションについて説明することができる。
4. 運動器機能障害のリハビリテーションについて説明することができる。
5. 精神障害のリハビリテーションについて説明することができる。
6. 加齢に伴う心身障害のリハビリテーションについて説明することができる。
7. 代償機能や環境整備について説明することができる。
8. 地域リハビリテーションについて説明することができる。

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

## 【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

## 【実務経験】

坂上哲可(作業療法士)、浅野葉子(作業療法士)、児玉壮志(作業療法士)

## 【実務経験を活かした教育内容】

作業療法士としての実務経験(身体障害、精神障害、老年期、地域等)を踏まえ、科学的根拠に基づく知識を伝達する。